

事務事業 No./名称	■サービス部門 まち-10 緑化啓発事業 □支援部門						
主管課	みどり課	関連課					
分野名	みどり						
目標 (目標値)	緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進する。						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	5,424	5,119	5,709			
	(国・県)			519			
	(負担金等)						
	(一般財源)	5,424	5,119	5,190			
	人員配置数	1.4	1.4	1.4			
	人件費(千円)	11,318	12,462	12,797			
事務事業運営経費	協働のパートナー	かまくら緑のレンジャー 緑化推進団体	かまくら緑のレンジャー 緑化推進団体	かまくら緑のレンジャー 緑化推進団体			
	総事業費(千円)	16,742	17,581	18,506			
	市民1人当りの経費(円)	94	99	104			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	対象者1人当りの経費(円)						
	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
まち並みのみどりの奨励事業 (補助延長距離(m))	◎	目標値	15,000	15,500	16,000	16,000	-
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	15,395	15,588	15,750	16,031	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
緑化啓発事業	5,424千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	緑化啓発に関する業務委託、まち並みのみどりの奨励事業補助金			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	引き続き、講習会修了者等に対し、習得した知識・技術を活かして、緑のレンジャーや自主活動グループ活動、市民ボランティア活動等への参加を推進する必要がある。		
課題解決のための取組	緑化推進団体等と連携し、各種講習会修了者が市有緑地や地域共有の緑の維持保全活動等への参加しやすい環境整備を行った。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題			

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		これまでの啓発事業の役割や成果を踏まえて、事業の充実と周知を図り、市民や企業等とともに緑に関する活動ができる仕組みづくりに努める。	課長等名
		③有効性 ○		↓	みどり課長
		④公平性 ○		B	川名 達哉

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
緑化啓発事業	301	緑化啓発に関する業務委託料	3,481	3,481	○	○	○	○
	301	まち並みのみどりの奨励事業	1,750	1,645	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							